

第 28 回阿武隈川トライアスロン大会
レースレポート

平成 25 年 9 月 9 日

岩渕 努

期日 平成 25 年 9 月 8 日 (日)

場所 福島県福島市

天候 : 雨

成績 (参加者 120 名)

スイム 1.5km 23 分 00 秒 (2 位)

バイク 40km 1 時間 09 分 01 秒 (1 位、通過 1 位)

ラン 10km 40 分 36 秒 (4 位)

総合 51.5km 2 時間 12 分 37 秒 (優勝)

MATERIAL

Bike SCOTT PLASMA Premium

Run Shoes ZOOT KIAWE(Second Run)

Tri Suit ZOOT Performance Tri Team Tank, Team 8" Short

Accessory ZOOT Ultra IceFil® Arm Coolers,

Ultra 2.0 CRx Calf Sleeve

Performance Ventilator Visor

Chemical HOLMENKOL LubeExtreme,HightecProof etc

Bar Tape LIZARDSKINS DSP Bartape 2.5mm

東北トライアスロンサーキット第 8 戦、震災以降 3 年ぶりのトライアスロンレース復活となった本大会。天候は、生憎の雨。

スイムは 50m プールをジグザグに 5 往復し、一度プールから上がり、スタート地点に戻ることを 3 周回する 1,500m。バイクは鋭角なコーナーや狭い道を走るテクニカルな 40km。ランは、片道 2.5km を 2 往復する途中階段があるがほぼフラットなコース。

さて、今年初めての雨レースとなったため、ここはホルメンケミカルの力の発揮のしどころだと思い、念入りにメンテナンス。ライニガーによりチェーンの汚れを綺麗に落とす。汚れを拭き取る際はケアフリースが一番である。ケアフリースはタオルで拭き取った時のような「ホツレ」の心配が無い。汚れを奇

麗に落としたり、次は「ナノコーティング」。これはルーベンスピードを金属部分にまんべんなく吹きかける。このコーティングの上から、「ルーベエクストリーム」をチェーン一個一個（上から、下から）に塗布し、ペダルを回転させて馴染ませる。

この次、雨のレースに取って置きケミカルが「ダートプロテクター」。泥汚れも予想される本レースには持ってこいのケミカルである。ダートプロテクターを金属部分に吹き付け、さっとケアフリースで拭き取り、レース前のメンテナンスを完了。

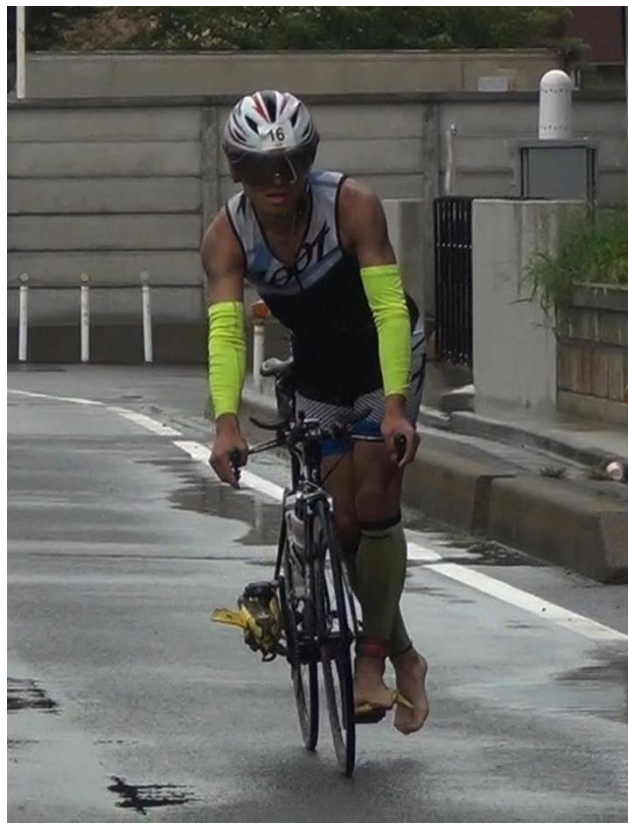
気温は 20℃程と、今年のレースでは一番寒かった。プールの水温は気温以上にあり、体温を奪われる心配は無かった。前述の通り、スイムはジグザグに泳ぐため、ターンの際に他選手との接触が予想されるため、上手く交わして泳ぐことに徹した。その結果、スイム 2 位でバイクへ。

バイク開始の際にも雨は続いていた。競技開始前に試走したところ、グレーチングが 2 箇所、90° 以内の鋭角コーナーが 10 箇所以上、直径 2m 程の水溜り 4 箇所、自転車で並走が厳しい箇所多数と、大変テクニカルなコースである上、雨により路面が滑りやすく落車の危険性があった。そのため、いつも以上にバイクでは集中力を高めていった。

バイクスタート時、200m 程先に先頭が見えた。今回も重めのギアではなく少し軽めのギアで回転を意識させた。バイク開始 3km 地点程で先頭に立ち、ここからは独走態勢を築くことができた。雨や水溜りを通過してもチェーン周りのオイルが切れたような金属音はしない。

レース後のチェーンの状態を写真に示す。ユニフォームは泥だらけであったが、自転車はこの通り。やはりダートプロテクターの効果は素晴らしい。

バイク終了時に後続と 4 分以

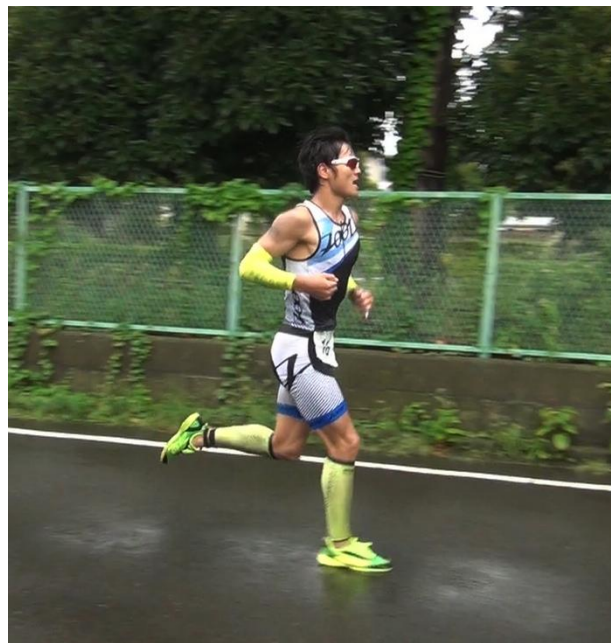


上の差をつけランへ。

ランではフォームとピッチを崩さないように意識して走った。最後まで集中力を切らさず、結果して2位と5分30秒差で優勝することができた。

今シーズン、初の優勝で大変嬉しい結果となった。また、2年間、本大会は震災の影響で会場を移してアクアスロンでの開催であったが、トライアスロンとして復活して頂いたことに感謝。

今シーズントライアスロンレースは本大会で最後であるが、デュアスロンレースが10月～12月にかけて東北サーキットが組まれている。現在東北1位を走っており、残りのレースまでしっかりと調子上げ、2連覇を達成したい。



以上